

平成 26 年度

事業報告書

公益財団法人国際平和機構

公1 環境教育事業

1. 第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム共催

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議であり、第1回(1994年、於：横浜)、第2回(2005年、於：神戸)の会議とも、日本で開催されている。第2回会議では、2005年から2015年までの国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組」が策定された。

本年度、第3回国連防災世界会議は仙台で開催され、兵庫行動枠組の後継となる新しい国際的防災指針である「仙台防災枠組 2015-2030」と、防災に対する各国の政治的コミットメントを示した「仙台宣言」が採択された。

パブリック・フォーラムは、国連防災会議開催中、政府機関、地方自治体、NPO、NGO、大学、地域団体など、国内外の多様な主体による防災や減災、復興に関する取り組みを一般公開により広く発信するもので、当財団は、仙台環境開発株式会社と共催で、「東日本大震災の災害廃棄物処理における課題の整理と解決に向けた提言～レジリエンス社会実現のために～」と題したフォーラムを実施した。

概略は次の通り。

- ・第Ⅰ部 特別講演
- ・第Ⅱ部 東日本大震災に学ぶ災害復旧～課題と提案～
- ・第Ⅲ部 環境基準の考え方とリスクコミュニケーション

公2 文化交流事業

1. 「ルーマニアの子どもたちの絵を届ける」プロジェクト支援

東日本大震災の直後、ルーマニア・ブカレスト市第2区の子どもたちから福島県に「福島の子どもたち、がんばれと励ましの意を込めて約600点の絵が送られ、福島県立美術館に保管されていた。

2013年、ブカレスト大学と学術交流のある福島大学の「うつくしま未来支援センター」が中心になり、これらの作品の多くを子どもたちに見てもらい、併せて、返礼として、福島の子どもたちの絵をルーマニアに送る事業を企画した。福島市と川俣町の児童・生徒が描いた約100点の絵をルーマニア大使館に届けた。これらの作品は、同大使館関係者などに披露された後、現在は、ブカレストに送られ、福島県とルーマニアの交流に大きな役割を果たした。

2014年、ブカレストの子どもたちの絵を見た福島市立清水小学校の6年生たちが、母校の創立125年の記念イベントに、この運動のパート2として全員で返礼の絵を描き上げた。指導には同校卒業生で二紀会委員の画家である佐藤幸代さんがあたった。佐藤さんは、文化庁から委嘱されて世界遺産のルーマニア協会の壁画修復にあたった経験があり、それを機に、同国との交流促進に努めている。

2014年11月17日（月）

- | | |
|-------------|---|
| 9:30～10:00 | 「手のひらを太陽に」をテーマとして、和紙（90×500 cm・3枚）
6年3組82名で制作。 |
| 10:30～11:10 | 全校生徒でDVD「地球に乾杯」視聴。ルーマニアについての話。 |
| 11:30～12:10 | お礼の絵やメッセージを描く。 |

2. 日本海外留学生スピーチコンテスト支援

アジアを中心に世界 20 ヶ国からの留学生が学ぶ日本経済大学では、留学生が自らの考えや想いを日本語で表現する場として 2011 年度より、日本語によるスピーチコンテストを開催している。

本年度は、一般公募に対して 713 名の応募があった。書類審査及び 2014 年 11 月に行われた予選を通過した 12 名が決勝に進んだ。

12 名の国別内訳は、中国 10 名、マレーシア 1 名、韓国 1 名となっている。

決勝は、2015 年 1 月 21 日（水）13:30 より、渋谷区文化総合センター大和田さくらホールにおいて開催された。

本財団は、賞金と広告費を援助した。

3. 国際開発ユースフォーラム支援

国際開発ユースフォーラムは、これからの社会を担うユースが集い、「国際開発」というテーマで、世界中のユースとの深い交流に根付いた議論を行う場を作るため、2012年に結成された。

本年度は、162の国と地域から、4672名の応募があった。選考の結果、34の国と地域から44名のユースが参加した。2015年3月1日～8日開催。

参加者34の国と地域44名の構成は次の通り。

ヨーロッパ11名：イタリア2名、ウクライナ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、ドイツ、ベラルーシ、ベルギー各1名

東アジア10名：日本8名、中国、韓国各1名

東南アジア7名：ベトナム3名、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ミャンマー各1名

アフリカ5名：アルジェリア、ウガンダ、ザンビア、ブルキナファソ、マダガスカル各1名

南アメリカ3名：コスタリカ、コロンビア、ペルー各1名

西アジア3名：シリア、トルコ、パレスチナ各1名

中央アジア2名：アゼルバイジャン、キルギス各1名

オセアニア1名：フィジー

南アジア1名：インド

北アメリカ1名：アメリカ